

(提案 1)

日本学術会議会則の一部改正について
(意思の表出に関する手続の変更)

日本学術会議が行う勧告（日本学術会議法第 5 条）、答申（法第 4 条）及び意思の表出（要望、声明、提言、報告、回答）（日本学術会議会則第 2 条）のうち、提言及び報告（以下「提言等」という。）については、委員会に置かれる分科会が表出の主体となることができる。

分科会が提言等を出す場合の手続は、①分科会において案を取りまとめ、②所属する分野別委員会（親委員会）において承認、③所属する部において査読④幹事会において承認、となる。

近年、日本学術会議の活動の活性化に伴い、提言等の数が増加してきている。これは、東日本大震災以降、日本学術会議として社会の重要課題について時宜を得た迅速な提言等を出すことを目指しているためであり、平成 27 年 3 月に内閣府特命担当大臣（科学技術政策）の下の有識者会議で取りまとめた報告書「日本学術会議の今後の展望について」においても、日本学術会議の役割として緊急課題等について迅速に学術的見解を提示する必要性が指摘されており、また、日本学術会議の活動を評価する外部評価有識者からも、より一層の時宜を得た提言の発出の必要性が指摘されているところ。

このような状況の変化の中で、例外なく親委員会を開催して承認を得ることを定める規程は、日本学術会議の活動の妨げとなっており、必要に応じて委員会の承認を分科会に委任できるよう、会則を改正したい。

(参考) 提言等の件数の推移

	第 22 期 (H23. 10～H26. 9)	第 21 期 (H20. 10～H23. 9)	第 20 期 (H17. 10～H20. 9)
件数	116 (100)	90 (68)	51 (48)
提言	67 (57)	61 (43)	34 (32)
報告	49 (43)	29 (25)	17 (16)

※ 括弧内は、分科会が出した件数

○日本学術会議規則第 号

日本学術会議法（昭和二十三年法律第二百一十一号）第二十八条の規定に基づき、日本学術会議会則の一部を改正する規則を次のように定める。

平成 年 月 日

日本学術会議会長 大西 隆

日本学術会議会則の一部を改正する規則

日本学術会議会則（平成十七年日本学術会議規則第三号）の一部を次のように改正する。
第二十七条第二項ただし書中「意思の表出」の下に「（提言及び報告を除く。）」を加える。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

改正案	現行
第九章 委員会 （委員会に置かれる分科会、小分科会又は小委員会） 第二十七条 （略） 2 委員会は、その定めるところにより、分科会の議決をもつて委員会の議決とすることができる。ただし、法第四条の諮問に対する答申及び法第五条の勧告並びに第二条に規定する意思の表出（提言及び報告を除く。）に關してはこの限りでない。	第九章 委員会 （委員会に置かれる分科会、小分科会又は小委員会） 第二十七条 （略） 2 委員会は、その定めるところにより、分科会の議決をもつて委員会の議決とすることができる。ただし、法第四条の諮問に対する答申及び法第五条の勧告並びに第二条に規定する意思の表出に關してはこの限りでない。

(提案 2)

日本学術会議細則の改正について

1 改正内容

科学者委員会が担っている広報関係に関する職務について、幹事会附置委員会として設置の広報委員会に移管させるため日本学術会議細則の一部を改正する。

2 改正理由

日本学術会議の広報については、これまで科学者委員会（広報・科学力増進分科会）において検討・対応してきたところであるが、報告書「日本学術会議の今後の展望について」（平成27年3月20日日本学術会議の新たな展望を考える有識者会議）の指摘を踏まえ、今後、日本学術会議全体として戦略性をもった広報の実施に取り組み、その効果的・積極的な活用を図り、より一層の検討・対応を行っていくために、日本学術会議の運営について審議する幹事会の下に、幹事会附置委員会として広報委員会が設置されたことに伴い、科学者委員会の職務に所要の改正を行うものである。

日本学術会議細則（平成１７年１０月４日本学術会議第１４６回総会決定）の一部を次のように改正する。

改 正 後			改 正 前		
別表第２（第１０条関係）			別表第２（第１０条関係）		
委員会名	委員長	職務	委員会名	委員長	職務
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
科学者委員会	会則第５条第１号に規定する職務を行う副会長	科学者の在り方、人権及び自由交流に関すること、科学における男女共同参画に関すること、会員及び連携会員の辞職（会則第９条第３項、同第１３条第２項）、会員及び連携会員の退職（会則第１０条第２項、同第１４条第２項）、地区会議に関すること、日本学術会議協力学術研究団体に関すること、その他科学者間の連携に関すること	科学者委員会	会則第５条第１号に規定する職務を行う副会長	科学者の在り方、人権及び自由交流に関すること、科学における男女共同参画に関すること、会員及び連携会員の辞職（会則第９条第３項、同第１３条第２項）、会員及び連携会員の退職（会則第１０条第２項、同第１４条第２項）、 <u>学術会議全体としての広報に関すること（刊行物の編集、シンポジウムの企画等）</u> 、地区会議に関すること、日本学術会議協力学術研究団体に関すること、その他科学者間の連携に関すること
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

(提案3)

日本学術会議の運営に関する内規（平成17年10月4日日本学術会議第1回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
(略)	(略)
(小分科会)	(小分科会)
第15条 <u>科学者委員会及び国際委員会</u> の分科会に、別に幹事会が定めるところにより、小分科会を置くことができる。	第15条 <u>国際委員会</u> の分科会に、別に幹事会が定めるところにより、小分科会を置くことができる。
2 (略)	2 (略)
(略)	(略)

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

(提案 4)

日本学術会議分野別委員会及び分科会等について（平成 20 年 10 月 23 日日本学術会議第 67 回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

改 正 後	改 正 前
(略) Ⅳ 会議の開催、手当・旅費について ①～⑩ 略 ⑪ <u>委員会等の開催地は、原則として東京 2 3 区です。</u> <u>ただし、旅費の支給が不要の場合は、地方（東京 23 区外）での開催が可能です。また、旅費の支給が必要な場合でも、講演会、シンポジウム等の同時開催や地方開催の方が所要経費が少額の場合等は、幹事会の承認を得られれば開催できます。</u> ⑫ 委員会等の出席に係る旅行完了の日の翌日から起算して 1 4 日以内に、旅費支給に係る次の必要書類 (1) ～ (2) 略 を事務局に提出（必着）した委員（正確な記載をした振込先等調査表を提出していない委員を除く。）については、当該会議終了後 2 カ月以内に、別紙 4 に規定する旅費を支給します（注 14）。 （注 14） 略	(略) Ⅳ 会議の開催、手当・旅費について ①～⑩ 略 ⑪ <u>委員会等の地方（東京 23 区外）での開催は、原則として認められておりません。</u> <u>ただし、幹事会の承認を得て開催が認められる場合（注 14）もありますので、あらかじめ事務局にご相談ください。</u> <u>（注 14）講演会、シンポジウム等の開催、地方開催の方が所要経費が少額の場合等。</u> ⑫ 委員会等の出席に係る旅行完了の日の翌日から起算して 1 4 日以内に、旅費支給に係る次の必要書類 (1) ～ (2) 略 を事務局に提出（必着）した委員（正確な記載をした振込先等調査表を提出していない委員を除く。）については、当該会議終了後 2 カ月以内に、別紙 4 に規定する旅費を支給します（注 15）。 （注 15） 略

V 分野別委員会又は分科会の提言及び報告等について ① 略 ② 公表に当たっては、総会又は幹事会（<u>注 15</u>）の承認が必要です。（中略） （<u>注 15</u>） 略 ③～④ 略 ⑤ 報告書等の表紙や要旨等には、一定の書式があります（<u>注 16</u>）。 （中略） （<u>注 16</u>） 略 ⑥～⑦ 略 ⑧ 提言の作成を担った委員会等の役員は、インパクトレポート（<u>注 16</u> の別紙様式 4）を作成し、提言の公表後 1 年以内に幹事会に報告することとされています。 VI 講演会、シンポジウム等の開催について 1. 講演会、シンポジウム等の主催・共催及び後援 ① 略 ② 学協会が行う講演会、シンポジウム等については、講演内容等が基準を満たせば日本学術会議が「後援」することができます（<u>注 17</u>）。開催日の 3 ヶ月前までに申請書の提出が必要です。 （中略） （<u>注 17</u>） 略	V 分野別委員会又は分科会の提言及び報告等について ① 略 ② 公表に当たっては、総会又は幹事会（<u>注 16</u>）の承認が必要です。（中略） （<u>注 16</u>） 略 ③～④ 略 ⑤ 報告書等の表紙や要旨等には、一定の書式があります（<u>注 17</u>）。 （中略） （<u>注 17</u>） 略 ⑥～⑦ 略 ⑧ 提言の作成を担った委員会等の役員は、インパクトレポート（<u>注 17</u> の別紙様式 4）を作成し、提言の公表後 1 年以内に幹事会に報告することとされています。 VI 講演会、シンポジウム等の開催について 1. 講演会、シンポジウム等の主催・共催及び後援 ① 略 ② 学協会が行う講演会、シンポジウム等については、講演内容等が基準を満たせば日本学術会議が「後援」することができます（<u>注 18</u>）。開催日の 3 ヶ月前までに申請書の提出が必要です。 （中略） （<u>注 18</u>） 略
--	--

2. 講演会、シンポジウム等の実行

- ① 委員会等が、講演会、シンポジウム等を開催する場合には、事前に関係部の承認を得た上で、幹事会の承認を得る必要があります。(注18)

なお、日本学術会議のホームページへの掲載は、幹事会での了承後となりますので、広報のために早めの掲載を希望される場合等には、内容もあやめに固める必要があります。

(注18) 略

- ② 講演会、シンポジウム等を開催するには、主催する委員会等の委員の複数が挨拶又は講演者として実際に参画している必要があります。一般に公開(参加が自由)で参加費が無料であることが原則となります。参加の資格要件がある場合や参加費を徴収する場合等、国の機関が主催するにふさわしくない場合は、日本学術会議の分野別委員会又は分科会として「主催」することはできません。(注19)

(注19) 略

- ③ 講演会、シンポジウム等の開催に当たっては、次の点にご留意ください。

○ 略

○ 会場は、日本学術会議の講堂、会議室等を使用できます。

なお、講堂と併せて会議室を使用する場合、会議室の予約は、原則5室までとします。使用できる日時は土・日・祝日及び年末年始を除く、10時から18時までです。ただし、32回(日本学術会議主催学術フォーラムの回数を含む。)を限度に(年

2. 講演会、シンポジウム等の実行

- ① 委員会等が、講演会、シンポジウム等を開催する場合には、事前に関係部の承認を得た上で、幹事会の承認を得る必要があります。(注19)

なお、日本学術会議のホームページへの掲載は、幹事会での了承後となりますので、広報のために早めの掲載を希望される場合等には、内容もあやめに固める必要があります。

(注19) 略

- ② 講演会、シンポジウム等を開催するには、主催する委員会等の委員の複数が挨拶又は講演者として実際に参画している必要があります。一般に公開(参加が自由)で参加費が無料であることが原則となります。参加の資格要件がある場合や参加費を徴収する場合等、国の機関が主催するにふさわしくない場合は、日本学術会議の分野別委員会又は分科会として「主催」することはできません。(注20)

(注20) 略

- ③ 講演会、シンポジウム等の開催に当たっては、次の点にご留意ください。

○ 略

○ 会場は、日本学術会議の講堂、会議室等を使用できます。

なお、講堂と併せて会議室を使用する場合、会議室の予約は、原則5室までとします。使用できる日時は土・日・祝日及び年末年始を除く、10時から18時までです。ただし、32回(日本学術会議主催学術フォーラムの回数を含む。)を限度に(年

末年始は除く。）、土曜日、日曜日及び祝日においても講堂を使用することができます（<u>注 20</u>）。 （<u>注 20</u>） 略 （以下略）	末年始は除く。）、土曜日、日曜日及び祝日においても講堂を使用することができます（<u>注 21</u>）。 （<u>注 21</u>） 略 （以下略）
--	--

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

(提案5)

科学者委員会運営要綱（平成17年10月4日本学術会議第1回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

改 正 後				改 正 前			
(略)				(略)			
(分科会)				(分科会)			
第2 委員会に、次の表のとおり分科会を置く。				第2 委員会に、次の表のとおり分科会を置く。			
分科会	調査審議事項	構成	備考	分科会	調査審議事項	構成	備考
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
学術の大型研究 計画検討分科会	学術の大型研究計 画の検討に関する こと	各部の3名以内 の会員及び委員 会の3名以内の 委員並びに会員 又は連携会員若 干名		学術の大型研究 計画検討分科会	学術の大型研究 計画の検討に関 すること	各部の3名以内 の会員及び委員 会の3名以内の 委員並びに会員 又は連携会員若 干名	
<u>人文・社会 科学分野の 大型研究計 画評価小分 科会</u>	<u>学術大型研究計画 の策定に係る計画 (人文・社会科学 分野)の評価、絞 り込みに関するこ と</u>	<u>15名以内の会 員又は連携会員</u>	<u>設置期間： 平成28年 3月24日 ～平成29 年9月30 日</u>	<u>(新規設置)</u>			

<u>基礎生物学分野の大型研究計画評価小分科会</u>	<u>学術大型研究計画の策定に係る計画（基礎生物学分野）の評価、絞り込みに関すること</u>	<u>15名以内の会員又は連携会員</u>	<u>設置期間：平成28年3月24日～平成29年9月30日</u>	<u>（新規設置）</u>
<u>統合生物学分野の大型研究計画評価小分科会</u>	<u>学術大型研究計画の策定に係る計画（統合生物学分野）の評価、絞り込みに関すること</u>	<u>15名以内の会員又は連携会員</u>	<u>設置期間：平成28年3月24日～平成29年9月30日</u>	<u>（新規設置）</u>
<u>農学分野の大型研究計画評価小分科会</u>	<u>学術大型研究計画の策定に係る計画（農学分野）の評価、絞り込みに関すること</u>	<u>15名以内の会員又は連携会員</u>	<u>設置期間：平成28年3月24日～平成29年9月30日</u>	<u>（新規設置）</u>
<u>食料科学分野の大型研究計画評価小分科会</u>	<u>学術大型研究計画の策定に係る計画（食料科学分野）の評価、絞り込みに関すること</u>	<u>15名以内の会員又は連携会員</u>	<u>設置期間：平成28年3月24日～平成29年9月30日</u>	<u>（新規設置）</u>

基礎医学分野の大型研究計画評価小分科会	学術大型研究計画の策定に係る計画（基礎医学分野）の評価、絞り込みに関すること	15名以内の会員又は連携会員	設置期間： 平成28年 3月24日 ～平成29 年9月30 日	(新規設置)
臨床医学分野の大型研究計画評価小分科会	学術大型研究計画の策定に係る計画（臨床医学分野）の評価、絞り込みに関すること	15名以内の会員又は連携会員	設置期間： 平成28年 3月24日 ～平成29 年9月30 日	(新規設置)
健康・生活科学分野の大型研究計画評価小分科会	学術大型研究計画の策定に係る計画（健康・生活科学分野）の評価、絞り込みに関すること	15名以内の会員又は連携会員	設置期間： 平成28年 3月24日 ～平成29 年9月30 日	(新規設置)
歯学分野の大型研究計画評価小分科会	学術大型研究計画の策定に係る計画（歯学分野）の評価、絞り込みに関すること	15名以内の会員又は連携会員	設置期間： 平成28年 3月24日 ～平成29 年9月30 日	(新規設置)

	薬学分野の 大型研究計 画評価小分 科会	学術大型研究計画 の策定に係る計画 (薬学分野) の評 価、絞り込みに関 すること	15名以内の会 員又は連携会員	設置期間： 平成28年 3月24日 ～平成29 年9月30 日		(新規設置)
	環境学分野 の大型研究 計画評価小 分科会	学術大型研究計画 の策定に係る計画 (環境学分野) の 評価、絞り込みに関 すること	15名以内の会 員又は連携会員	設置期間： 平成28年 3月24日 ～平成29 年9月30 日		(新規設置)
	数理科学分 野の大型研 究計画評価 小分科会	学術大型研究計画 の策定に係る計画 (数理科学分野) の評価、絞り込み に関すること	15名以内の会 員又は連携会員	設置期間： 平成28年 3月24日 ～平成29 年9月30 日		(新規設置)
	物理学分野 の大型研究 計画評価小 分科会	学術大型研究計画 の策定に係る計画 (物理学分野) の 評価、絞り込みに関 すること	15名以内の会 員又は連携会員	設置期間： 平成28年 3月24日 ～平成29 年9月30 日		(新規設置)

<u>地球惑星科学分野の大型研究計画評価小分科会</u>	<u>学術大型研究計画の策定に係る計画（地球惑星科学分野）の評価、絞り込みに関すること</u>	<u>15名以内の会員又は連携会員</u>	<u>設置期間：平成28年3月24日～平成29年9月30日</u>	<u>（新規設置）</u>
<u>情報学分野の大型研究計画評価小分科会</u>	<u>学術大型研究計画の策定に係る計画（情報学分野）の評価、絞り込みに関すること</u>	<u>15名以内の会員又は連携会員</u>	<u>設置期間：平成28年3月24日～平成29年9月30日</u>	<u>（新規設置）</u>
<u>化学分野の大型研究計画評価小分科会</u>	<u>学術大型研究計画の策定に係る計画（化学分野）の評価、絞り込みに関すること</u>	<u>15名以内の会員又は連携会員</u>	<u>設置期間：平成28年3月24日～平成29年9月30日</u>	<u>（新規設置）</u>
<u>総合工学分野の大型研究計画評価小分科会</u>	<u>学術大型研究計画の策定に係る計画（総合工学分野）の評価、絞り込みに関すること</u>	<u>15名以内の会員又は連携会員</u>	<u>設置期間：平成28年3月24日～平成29年9月30日</u>	<u>（新規設置）</u>

機械工学分 野の大型研 究計画評価 小分科会	学術大型研究計画 の策定に係る計画 (機械工学分野) の評価、絞り込み に関すること	15名以内の会 員又は連携会員	設置期間： 平成28年 3月24日 ～平成29 年9月30 日		(新規設置)
電気電子工 学分野の大 型研究計画 評価小分科 会	学術大型研究計画 の策定に係る計画 (電気電子工学分 野)の評価、絞り 込みに関すること	15名以内の会 員又は連携会員	設置期間： 平成28年 3月24日 ～平成29 年9月30 日		(新規設置)
土木工学・ 建築学分野 の大型研究 計画評価小 分科会	学術大型研究計画 の策定に係る計画 (土木工学・建築 学分野)の評価、 絞り込みに関する こと	15名以内の会 員又は連携会員	設置期間： 平成28年 3月24日 ～平成29 年9月30 日		(新規設置)
材料工学分 野の大型研 究計画評価 小分科会	学術大型研究計画 の策定に係る計画 (材料工学分野) の評価、絞り込み に関すること	15名以内の会 員又は連携会員	設置期間： 平成28年 3月24日 ～平成29 年9月30 日		(新規設置)

(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(略)				(略)			

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

科学者委員会学術の大型研究計画検討分科会小分科会の設置について

分科会等名：人文・社会科学分野の大型研究計画評価小分科会

1	所属委員会名	科学者委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	日本学術会議は、平成28年2月に報告「第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、同報告に基づき、応募されてきた計画の評価、絞り込みを行うため、「人文・社会科学分野の大型研究計画評価小分科会」を設置する。 なお、小分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、応募されてきた計画（人文・社会科学分野）の評価、絞り込み等を行う。
5	設置期間	時限設置 平成28年3月24日～平成29年9月30日
		常設
6	備考	※新規設置

科学者委員会学術の大型研究計画検討分科会小分科会の設置について

分科会等名：基礎生物学分野の大型研究計画評価小分科会

1	所属委員会名	科学者委員会				
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員				
3	設置目的	日本学術会議は、平成28年2月に報告「第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、同報告に基づき、応募されてきた計画の評価、絞り込みを行うため、「基礎生物学分野の大型研究計画評価小分科会」を設置する。 なお、小分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。				
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、応募されてきた計画（基礎生物学分野）の評価、絞り込み等を行う。				
5	設置期間	<table><tr><td>時限設置</td><td>平成28年3月24日～平成29年9月30日</td></tr><tr><td>常設</td><td></td></tr></table>	時限設置	平成28年3月24日～平成29年9月30日	常設	
時限設置	平成28年3月24日～平成29年9月30日					
常設						
6	備考	※新規設置				

科学者委員会学術の大型研究計画検討分科会小分科会の設置について

分科会等名：統合生物学分野の大型研究計画評価小分科会

1	所属委員会名	科学者委員会				
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員				
3	設置目的	日本学術会議は、平成28年2月に報告「第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、同報告に基づき、応募されてきた計画の評価、絞り込みを行うため、「統合生物学分野の大型研究計画評価小分科会」を設置する。 なお、小分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。				
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、応募されてきた計画（統合生物学分野）の評価、絞り込み等を行う。				
5	設置期間	<table><tr><td>時限設置</td><td>平成28年3月24日～平成29年9月30日</td></tr><tr><td>常設</td><td></td></tr></table>	時限設置	平成28年3月24日～平成29年9月30日	常設	
時限設置	平成28年3月24日～平成29年9月30日					
常設						
6	備考	※新規設置				

科学者委員会学術の大型研究計画検討分科会小分科会の設置について

分科会等名：農学分野の大型研究計画評価小分科会

1	所属委員会名	科学者委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	日本学術会議は、平成28年2月に報告「第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、同報告に基づき、応募されてきた計画の評価、絞り込みを行うため、「農学分野の大型研究計画評価小分科会」を設置する。 なお、小分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、応募されてきた計画（農学分野）の評価、絞り込み等を行う。
5	設置期間	時限設置 平成28年3月24日～平成29年9月30日
		常設
6	備考	※新規設置

科学者委員会学術の大型研究計画検討分科会小分科会の設置について

分科会等名：食料科学分野の大型研究計画評価小分科会

1	所属委員会名	科学者委員会				
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員				
3	設置目的	日本学術会議は、平成28年2月に報告「第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、同報告に基づき、応募されてきた計画の評価、絞り込みを行うため、「食料科学分野の大型研究計画評価小分科会」を設置する。 なお、小分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。				
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、応募されてきた計画（食料科学分野）の評価、絞り込み等を行う。				
5	設置期間	<table><tr><td>時限設置</td><td>平成28年3月24日～平成29年9月30日</td></tr><tr><td>常設</td><td></td></tr></table>	時限設置	平成28年3月24日～平成29年9月30日	常設	
時限設置	平成28年3月24日～平成29年9月30日					
常設						
6	備考	※新規設置				

科学者委員会学術の大型研究計画検討分科会小分科会の設置について

分科会等名：基礎医学分野の大型研究計画評価小分科会

1	所属委員会名	科学者委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	日本学術会議は、平成28年2月に報告「第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、同報告に基づき、応募されてきた計画の評価、絞り込みを行うため、「基礎医学分野の大型研究計画評価小分科会」を設置する。 なお、小分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、応募されてきた計画（基礎医学分野）の評価、絞り込み等を行う。
5	設置期間	時限設置 平成28年3月24日～平成29年9月30日
		常設
6	備考	※新規設置

科学者委員会学術の大型研究計画検討分科会小分科会の設置について

分科会等名：臨床医学分野の大型研究計画評価小分科会

1	所属委員会名	科学者委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	日本学術会議は、平成28年2月に報告「第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、同報告に基づき、応募されてきた計画の評価、絞り込みを行うため、「臨床医学分野の大型研究計画評価小分科会」を設置する。 なお、小分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、応募されてきた計画（臨床医学分野）の評価、絞り込み等を行う。
5	設置期間	時限設置 平成28年3月24日～平成29年9月30日
		常設
6	備考	※新規設置

科学者委員会学術の大型研究計画検討分科会小分科会の設置について

分科会等名：健康・生活科学分野の大型研究計画評価小分科会

1	所属委員会名	科学者委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	日本学術会議は、平成28年2月に報告「第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、同報告に基づき、応募されてきた計画の評価、絞り込みを行うため、「健康・生活科学分野の大型研究計画評価小分科会」を設置する。 なお、小分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、応募されてきた計画（健康・生活科学分野）の評価、絞り込み等を行う。
5	設置期間	時限設置 平成28年3月24日～平成29年9月30日
		常設
6	備考	※新規設置

科学者委員会学術の大型研究計画検討分科会小分科会の設置について

分科会等名：歯学分野の大型研究計画評価小分科会

1	所属委員会名	科学者委員会				
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員				
3	設置目的	日本学術会議は、平成28年2月に報告「第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、同報告に基づき、応募されてきた計画の評価、絞り込みを行うため、「歯学分野の大型研究計画評価小分科会」を設置する。 なお、小分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。				
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、応募されてきた計画（歯学分野）の評価、絞り込み等を行う。				
5	設置期間	<table><tr><td>時限設置</td><td>平成28年3月24日～平成29年9月30日</td></tr><tr><td>常設</td><td></td></tr></table>	時限設置	平成28年3月24日～平成29年9月30日	常設	
時限設置	平成28年3月24日～平成29年9月30日					
常設						
6	備考	※新規設置				

科学者委員会学術の大型研究計画検討分科会小分科会の設置について

分科会等名：薬学分野の大型研究計画評価小分科会

1	所属委員会名	科学者委員会	
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員	
3	設置目的	日本学術会議は、平成28年2月に報告「第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、同報告に基づき、応募されてきた計画の評価、絞り込みを行うため、「薬学分野の大型研究計画評価小分科会」を設置する。 なお、小分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。	
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、応募されてきた計画（薬学分野）の評価、絞り込み等を行う。	
5	設置期間	時限設置	平成28年3月24日～平成29年9月30日
		常設	
6	備考	※新規設置	

科学者委員会学術の大型研究計画検討分科会小分科会の設置について

分科会等名：環境学分野の大型研究計画評価小分科会

1	所属委員会名	科学者委員会				
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員				
3	設置目的	日本学術会議は、平成28年2月に報告「第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、同報告に基づき、応募されてきた計画の評価、絞り込みを行うため、「環境学分野の大型研究計画評価小分科会」を設置する。 なお、小分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。				
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、応募されてきた計画（環境学分野）の評価、絞り込み等を行う。				
5	設置期間	<table><tr><td>時限設置</td><td>平成28年3月24日～平成29年9月30日</td></tr><tr><td>常設</td><td></td></tr></table>	時限設置	平成28年3月24日～平成29年9月30日	常設	
時限設置	平成28年3月24日～平成29年9月30日					
常設						
6	備考	※新規設置				

科学者委員会学術の大型研究計画検討分科会小分科会の設置について

分科会等名：数理科学分野の大型研究計画評価小分科会

1	所属委員会名	科学者委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	日本学術会議は、平成28年2月に報告「第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、同報告に基づき、応募されてきた計画の評価、絞り込みを行うため、「数理科学分野の大型研究計画評価小分科会」を設置する。 なお、小分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、応募されてきた計画（数理科学分野）の評価、絞り込み等を行う。
5	設置期間	時限設置 平成28年3月24日～平成29年9月30日
		常設
6	備考	※新規設置

科学者委員会学術の大型研究計画検討分科会小分科会の設置について

分科会等名：物理学分野の大型研究計画評価小分科会

1	所属委員会名	科学者委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	日本学術会議は、平成28年2月に報告「第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、同報告に基づき、応募されてきた計画の評価、絞り込みを行うため、「物理学分野の大型研究計画評価小分科会」を設置する。 なお、小分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、応募されてきた計画（物理学分野）の評価、絞り込み等を行う。
5	設置期間	時限設置 平成28年3月24日～平成29年9月30日
		常設
6	備考	※新規設置

科学者委員会学術の大型研究計画検討分科会小分科会の設置について

分科会等名：地球惑星科学分野の大型研究計画評価小分科会

1	所属委員会名	科学者委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	日本学術会議は、平成28年2月に報告「第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、同報告に基づき、応募されてきた計画の評価、絞り込みを行うため、「地球惑星科学分野の大型研究計画評価小分科会」を設置する。 なお、小分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、応募されてきた計画（地球惑星科学分野）の評価、絞り込み等を行う。
5	設置期間	時限設置 平成28年3月24日～平成29年9月30日
		常設
6	備考	※新規設置

科学者委員会学術の大型研究計画検討分科会小分科会の設置について

分科会等名：情報学分野の大型研究計画評価小分科会

1	所属委員会名	科学者委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	日本学術会議は、平成28年2月に報告「第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、同報告に基づき、応募されてきた計画の評価、絞り込みを行うため、「情報学分野の大型研究計画評価小分科会」を設置する。 なお、小分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、応募されてきた計画（情報学分野）の評価、絞り込み等を行う。
5	設置期間	時限設置 平成28年3月24日～平成29年9月30日
		常設
6	備考	※新規設置

科学者委員会学術の大型研究計画検討分科会小分科会の設置について

分科会等名：化学分野の大型研究計画評価小分科会

1	所属委員会名	科学者委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	日本学術会議は、平成28年2月に報告「第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、同報告に基づき、応募されてきた計画の評価、絞り込みを行うため、「化学分野の大型研究計画評価小分科会」を設置する。 なお、小分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、応募されてきた計画（化学分野）の評価、絞り込み等を行う。
5	設置期間	時限設置 平成28年3月24日～平成29年9月30日
		常設
6	備考	※新規設置

科学者委員会学術の大型研究計画検討分科会小分科会の設置について

分科会等名：総合工学分野の大型研究計画評価小分科会

1	所属委員会名	科学者委員会				
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員				
3	設置目的	日本学術会議は、平成28年2月に報告「第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、同報告に基づき、応募されてきた計画の評価、絞り込みを行うため、「総合工学分野の大型研究計画評価小分科会」を設置する。 なお、小分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。				
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、応募されてきた計画（総合工学分野）の評価、絞り込み等を行う。				
5	設置期間	<table><tr><td>時限設置</td><td>平成28年3月24日～平成29年9月30日</td></tr><tr><td>常設</td><td></td></tr></table>	時限設置	平成28年3月24日～平成29年9月30日	常設	
時限設置	平成28年3月24日～平成29年9月30日					
常設						
6	備考	※新規設置				

科学者委員会学術の大型研究計画検討分科会小分科会の設置について

分科会等名：機械工学分野の大型研究計画評価小分科会

1	所属委員会名	科学者委員会				
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員				
3	設置目的	日本学術会議は、平成28年2月に報告「第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、同報告に基づき、応募されてきた計画の評価、絞り込みを行うため、「機械工学分野の大型研究計画評価小分科会」を設置する。 なお、小分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。				
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、応募されてきた計画（機械工学分野）の評価、絞り込み等を行う。				
5	設置期間	<table><tr><td>時限設置</td><td>平成28年3月24日～平成29年9月30日</td></tr><tr><td>常設</td><td></td></tr></table>	時限設置	平成28年3月24日～平成29年9月30日	常設	
時限設置	平成28年3月24日～平成29年9月30日					
常設						
6	備考	※新規設置				

科学者委員会学術の大型研究計画検討分科会小分科会の設置について

分科会等名：電気電子工学分野の大型研究計画評価小分科会

1	所属委員会名	科学者委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	日本学術会議は、平成28年2月に報告「第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、同報告に基づき、応募されてきた計画の評価、絞り込みを行うため、「電気電子工学分野の大型研究計画評価小分科会」を設置する。 なお、小分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、応募されてきた計画（電気電子工学分野）の評価、絞り込み等を行う。
5	設置期間	時限設置 平成28年3月24日～平成29年9月30日
		常設
6	備考	※新規設置

科学者委員会学術の大型研究計画検討分科会小分科会の設置について

分科会等名：土木工学・建築学分野の大型研究計画評価小分科会

1	所属委員会名	科学者委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	日本学術会議は、平成28年2月に報告「第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、同報告に基づき、応募されてきた計画の評価、絞り込みを行うため、「土木工学・建築学分野の大型研究計画評価小分科会」を設置する。 なお、小分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、応募されてきた計画（土木工学・建築学分野）の評価、絞り込み等を行う。
5	設置期間	時限設置 平成28年3月24日～平成29年9月30日
		常設
6	備考	※新規設置

科学者委員会学術の大型研究計画検討分科会小分科会の設置について

分科会等名：材料工学分野の大型研究計画評価小分科会

1	所属委員会名	科学者委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	日本学術会議は、平成28年2月に報告「第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」を決定した。学術大型研究計画や重点大型研究計画を策定するために、同報告に基づき、応募されてきた計画の評価、絞り込みを行うため、「材料工学分野の大型研究計画評価小分科会」を設置する。 なお、小分科会における審議にあたっては、透明性を確保し、利益相反が生じることがないようにすることに留意するものとする。
4	審議事項	学術大型研究計画及び重点大型研究計画の策定に資するため、応募されてきた計画（材料工学分野）の評価、絞り込み等を行う。
5	設置期間	時限設置 平成28年3月24日～平成29年9月30日
		常設
6	備考	※新規設置

【機能別委員会】

○委員の決定（新規 21 件）

（ 科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会 人文・社会科学分野の大型研究計画評価小分科会 ）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考	推 薦
大塚啓二郎	政策研究大学院大学教授	第一部会員	第一部
岡田真美子	中村元記念館東洋思想文化研究所研究員、兵庫県立大学名誉教授	第一部会員	第一部
金子 元久	筑波大学大学研究センター教授	第一部会員	第一部
梶 茂樹	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科教授	第一部会員	第一部
河田 潤一	神戸学院大学法学部教授	第一部会員	第一部
川本 明人	広島修道大学商学部教授	第一部会員	第一部
久保 亨	信州大学人文学部教授	第一部会員	第一部
小松 久男	東京外国語大学大学院総合国際学研究院特任教授	第一部会員	第一部
小森田秋夫	神奈川大学法学部教授	第一部会員	第一部
杉田 敦	法政大学法学部教授	第一部会員	第一部
恒吉 僚子	東京大学大学院教育学研究科教授	第一部会員	第一部
町村 敬志	一橋大学大学院社会学研究科教授	第一部会員	第一部
松本 恒雄	独立行政法人国民生活センター理事長	第一部会員	第一部
宮崎 恒二	東京外国語大学副学長	第一部会員	第一部
山川 充夫	帝京大学経済学部地域経済学科長・教授	第一部会員	第一部

(科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会 基礎生物学分野の大型研究計画評価小分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考	推 薦
岸本 健雄	お茶の水女子大学客員教授、東京工業大学名誉教授	第二部会員	第二部
近藤 孝男	名古屋大学大学院理学研究科特任教授	第二部会員	第二部
塩見美喜子	東京大学大学院理学系研究科教授	第二部会員	第二部
嶋田 透	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	第二部会員	第二部
城石 俊彦	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立遺伝学研究所副所長・教授	第二部会員	第二部
中野 明彦	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻教授	第二部会員	第二部
西村いくこ	京都大学大学院理学研究科教授	第二部会員	第二部
福田 裕穂	東京大学大学院理学系研究科長・理学部長・教授	第二部会員	第二部
藤吉 好則	名古屋大学細胞生理学研究センター特任教授	第二部会員	第二部

(科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会 統合生物学分野の大型研究計画評価小分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考	推 薦
巖佐 庸	九州大学大学院理学研究院教授	第二部会員	第二部
長野 哲雄	東京大学名誉教授、独立行政法人医薬品医療機器総合機構理事	第二部会員	第二部
山極 壽一	京都大学総長	第二部会員	第二部
斎藤 成也	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立遺伝学研究所集団遺伝研究部門教授	連携会員	第二部
辻 和希	琉球大学農学部亜熱帯農林環境科学科教授	連携会員	第二部

馬場 悠男	独立行政法人国立科学博物館名誉研究員	連携会員	第二部
美宅 成樹	公益財団法人豊田理化学研究所客員フェロー	連携会員	第二部
吉田 丈人	東京大学大学院総合文化研究科准教授	連携会員	第二部
渡辺 茂	慶応義塾大学名誉教授	連携会員	第二部

(科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会 農学分野の大型研究計画評価小分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考	推 薦
大杉 立	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	第二部会員	第二部
大政 謙次	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	第二部会員	第二部
川井 秀一	京都大学大学院総合生存学館（思修館）学館長・特定教授	第二部会員	第二部
倉田 のり	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立遺伝学研究所系統生物研究センター長・生物遺伝資源センター長	第二部会員	第二部
嶋田 透	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	第二部会員	第二部
奥野 員敏	元筑波大学生命環境系教授	連携会員	第二部
小野 正人	玉川大学農学部生物資源学科教授・農学部長・農学研究科長	連携会員	第二部
立川 雅司	茨城大学農学部教授	連携会員	第二部
松本 宏	筑波大学執行役員・生命環境系長・教授	連携会員	第二部
間藤 徹	京都大学大学院農学研究科教授	連携会員	第二部
宮崎 毅	東京大学名誉教授	連携会員	第二部

(科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会 食料科学分野の大型研究計画評価小分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考	推 薦
尾崎 博	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	第二部会員	第二部
甲斐知恵子	東京大学医科学研究所教授	第二部会員	第二部
嶋田 透	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	第二部会員	第二部
清水 誠	東京農業大学応用生物科学部教授	第二部会員	第二部
渡部 終五	北里大学海洋生命科学部教授	第二部会員	第二部
植田 和光	京都大学物質・細胞統合システム拠点教授	連携会員	第二部
木村 直子	山形大学農学部教授、岩手大学大学院連合農学研究科教授	連携会員	第二部
清水 浩	京都大学大学院農学研究科教授	連携会員	第二部
眞鍋 昇	大阪国際大学教授・学長補佐	連携会員	第二部
三輪 清志	味の素株式会社客員フェロー	連携会員	第二部

(科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会 基礎医学分野の大型研究計画評価小分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考	推 薦
石川 冬木	京都大学大学院生命科学研究科教授	第二部会員	第二部
笹川 千尋	一般財団法人日本生物科学研究所常務理事・所長	第二部会員	第二部
清水 孝雄	国立研究開発法人国立国際医療研究センター理事・研究所長、東京大学総長顧問	第二部会員	第二部
永井 良三	自治医科大学学長	第二部会員	第二部
本間 さと	北海道大学大学院医学研究科時間医学講座特任教授	第二部会員	第二部
小幡 裕一	国立研究開発法人理化学研究所筑波事業所所長・バイオリソースセンター	連携会員	第二部

	センター長		
高濱 洋介	徳島大学疾患ゲノム研究センター長・教授	連携会員	第二部
田中 啓治	国立研究開発法人理化学研究所脳科学総合研究センター副センター長	連携会員	第二部
藤本 豊士	名古屋大学大学院医学系研究科教授	連携会員	第二部
三品 昌美	立命館大学総合科学技術研究機構教授	連携会員	第二部

(科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会 臨床医学分野の大型研究計画評価小分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考	推 薦
磯部 光章	東京医科歯科大学大学院循環制御内科学主任教授	第二部会員	第二部
春日 雅人	国立研究開発法人国立国際医療研究センター総長	第二部会員	第二部
戸山 芳昭	慶應義塾常任理事・慶應義塾大学医学部教授	第二部会員	第二部
永井 良三	自治医科大学学長	第二部会員	第二部
別役 智子	慶應義塾大学医学部呼吸器内科教授	第二部会員	第二部
寶金 清博	北海道大学病院長	第二部会員	第二部
前原 喜彦	九州大学大学院医学研究院消化器・総合外科教授	第二部会員	第二部
宮坂 信之	東京医科歯科大学名誉教授	第二部会員	第二部
桃井眞里子	国際医療福祉大学副学長	第二部会員	第二部
森 正樹	大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学教授	第二部会員	第二部
山下 俊一	長崎大学理事・副学長	第二部会員	第二部
山脇 成人	広島大学大学院医歯薬保健学研究院精神神経医科学教授	第二部会員	第二部
小池 和彦	東京大学大学院医学系研究科消化器内科学教授	連携会員	第二部

中畑 龍俊	京都大学 iPS 細胞研究所副所長・特定拠点教授	連携会員	第二部
-------	--------------------------	------	-----

(科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会 健康・生活科学分野の大型研究計画評価小分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考	推 薦
秋葉 澄伯	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科疫学・予防医学分野教授	第二部会員	第二部
太田喜久子	慶應義塾大学看護医療学部教授	第二部会員	第二部
小川 宣子	中部大学応用生物学部教授	第二部会員	第二部
片田 範子	兵庫県立大学看護学部看護学研究科長・教授	第二部会員	第二部
神谷 研二	広島大学副学長・原爆放射線医科学研究所教授	第二部会員	第二部
田畑 泉	立命館大学スポーツ健康科学部長・教授	第二部会員	第二部
長野 哲雄	東京大学名誉教授、独立行政法人医薬品医療機器総合機構理事	第二部会員	第二部
那須 民江	中部大学生命健康科学部教授、名古屋大学名誉教授	第二部会員	第二部
吉野 博	東北大学総長特命教授・名誉教授、秋田県立大学客員教授、前橋工科大学客員教授	第三部会員	第二部
澁川 祥子	横浜国立大学名誉教授	連携会員	第二部
宮地 元彦	国立研究開発法人国立健康・栄養研究所健康増進研究部長	連携会員	第二部

(科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会 歯学分野の大型研究計画評価小分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考	推 薦
東 みゆき	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科分子免疫学分野教授	第二部会員	第二部
古谷野 潔	九州大学大学院歯学研究院教授	第二部会員	第二部

丹沢 秀樹	千葉大学大学院医学研究院教授	第二部会員	第二部
永井 良三	自治医科大学学長	第二部会員	第二部
山口 朗	東京歯科大学口腔科学センター教授、 東京医科歯科大学名誉教授	第二部会員	第二部
朝田 芳信	鶴見大学歯学部小児歯科学講座教授	連携会員	第二部
佐々木啓一	東北大学大学院歯学研究科長・教授	連携会員	第二部
中村 誠司	九州大学大学院歯学研究院教授	連携会員	第二部
平田 雅人	九州大学大学院歯学研究院教授	連携会員	第二部
前田 健康	新潟大学歯学部長・教授	連携会員	第二部
宮崎 隆	昭和大学歯学部歯科理工学教室教授	連携会員	第二部
村上 伸也	大阪大学大学院歯学研究科教授	連携会員	第二部
森山 啓司	東京医科歯科大学大学院医歯学総合 研究科教授	連携会員	第二部
矢谷 博文	大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機 能再建学講座クラウンブリッジ補綴 学分野教授	連携会員	第二部

（ 科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会 薬学分野の大型研究計画評価小分科会 ）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考	推 薦
清木 元治	金沢大学医薬保健研究域・医学系招聘 型リサーチプロフェッサー（特任教授）、 東京大学名誉教授	第二部会員	第二部
長野 哲雄	東京大学名誉教授、独立行政法人医薬 品医療機器総合機構理事	第二部会員	第二部
平井みどり	神戸大学医学部附属病院教授・薬剤部 長	第二部会員	第二部
奥 直人	静岡県立大学薬学部教授	連携会員	第二部
堅田 利明	東京大学大学院薬学系研究科教授	連携会員	第二部

菅野 純	国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター毒性部長	連携会員	第二部
佐治 英郎	京都大学大学院薬学研究科研究科長・教授	連携会員	第二部
橋田 充	京都大学大学院薬学研究科教授	連携会員	第二部
望月 眞弓	慶應義塾大学病院薬剤部長・薬学部教授	連携会員	第二部
安原 眞人	東京医科歯科大学医学部附属病院教授	連携会員	第二部

(科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会 環境学分野の大型研究計画評価小分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考	推 薦
岩本 康志	東京大学大学院経済学研究科教授	第一部会員	第三部
大政 謙次	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	第二部会員	第三部
西條 辰義	一橋大学経済研究所教授	第一部会員	第三部
中村 尚	東京大学先端科学技術研究センター教授	第三部会員	第三部
吉野 博	東北大学総長特命教授・名誉教授、秋田県立大学客員教授、前橋工科大学客員教授	第三部会員	第三部
青柳みどり	国立研究開発法人国立環境研究所社会環境システム研究センター環境計画研究室室長	連携会員	第三部
石川 幹子	中央大学理工学部人間総合理工学科教授	連携会員	第三部
岡本 耕平	名古屋大学大学院環境学研究科教授	連携会員	第三部
工藤由貴子	横浜国立大学教育人間科学部教授	連携会員	第三部
櫻井 武司	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	連携会員	第三部

(科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会 数理科学分野の大型研究計画評価小分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考	推 薦
相原 博昭	東京大学副学長・大学院理学系研究科教授	第三部会員	第三部
北川源四郎	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構機構長	第三部会員	第三部
小谷 元子	東北大学原子分子材料科学高等研究機構機構長・大学院理学研究科教授	第三部会員	第三部
坪井 俊	東京大学大学院数理科学研究科教授	第三部会員	第三部
萩原 一郎	明治大学先端数理科学インスティテュート (MIMS) 所長・研究知財戦略機構特任教授	第三部会員	第三部
石井志保子	東京大学大学院数理科学研究科教授	連携会員	第三部
小澤 徹	早稲田大学理工学術院先進理工学部応用物理学教授	連携会員	第三部
楠岡 成雄	東京大学大学院数理科学研究科教授	連携会員	第三部
竹村 彰通	東京大学大学院情報理工学系研究科数理情報学専攻教授、滋賀大学データサイエンス教育研究推進室教授	連携会員	第三部
森田 康夫	東北大学高度教養教育・学生支援機構教養教育院総長特命教授	連携会員	第三部

(科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会 物理学分野の大型研究計画評価小分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考	推 薦
相原 博昭	東京大学副学長・大学院理学系研究科教授	第三部会員	第三部
岡 眞	東京工業大学大学院理工学研究科教授	第三部会員	第三部
須藤 靖	東京大学大学院理学系研究科物理学専攻教授	第三部会員	第三部
田島 節子	大阪大学大学院理学研究科教授	第三部会員	第三部

観山 正見	広島大学学長室特任教授	第三部会員	第三部
伊藤 公孝	自然科学研究機構核融合科学研究所 フェロー教授	連携会員	第三部
江口 徹	立教大学理学研究科特任教授	連携会員	第三部
河野 公俊	国立研究開発法人理化学研究所創発 物性科学研究センター量子凝縮相研 究チームチームリーダー	連携会員	第三部
駒宮 幸男	東京大学大学院理学系研究科教授	連携会員	第三部
田村 裕和	東北大学大学院理学研究科教授	連携会員	第三部
森 初果	東京大学物性研究所教授	連携会員	第三部
森 正樹	立命館大学理工学部教授	連携会員	第三部

(科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会 地球惑星科学分野の大型研究計画評価小分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考	推 薦
相原 博昭	東京大学副学長・大学院理学系研究科 教授	第三部会員	第三部
大久保修平	東京大学地震研究所教授・高エネルギー 素粒子地球物理学研究センター長	第三部会員	第三部
川口淳一郎	国立研究開発法人宇宙航空研究開発 機構宇宙科学研究所宇宙飛行工学研 究系教授・シニアフェロー	第三部会員	第三部
木村 学	東京大学大学院理学系研究科教授	第三部会員	第三部
高橋 桂子	国立研究開発法人海洋研究開発機構 地球情報基盤センター長	第三部会員	第三部
中村 尚	東京大学先端科学技術研究センター 教授	第三部会員	第三部
氷見山幸夫	北海道教育大学名誉教授	第三部会員	第三部
藤井 良一	名古屋大学宇宙地球環境研究所教授	第三部会員	第三部
大谷 栄治	東北大学大学院理学研究科教授	連携会員	第三部

北里 洋	国立研究開発法人海洋研究開発機構 東日本海洋生態系変動解析プロジェクト長	連携会員	第三部
永原 裕子	東京大学大学院理学系研究科教授	連携会員	第三部
西山 忠男	熊本大学大学院自然科学研究科教授	連携会員	第三部
花輪 公雄	東北大学理事	連携会員	第三部
春山 成子	三重大学大学院生物資源学研究科共生環境学専攻教授	連携会員	第三部
益田 晴恵	大阪市立大学大学院理学研究科教授	連携会員	第三部

(科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会 情報学分野の大型研究計画評価小分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考	推 薦
荒川 薫	明治大学総合数理学部先端メディアサイエンス学科教授	第三部会員	第三部
石田 亨	京都大学大学院情報学研究科教授	第三部会員	第三部
尾家 祐二	九州工業大学理事・副学長	第三部会員	第三部
北川源四郎	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構機構長	第三部会員	第三部
喜連川 優	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所所長、東京大学生産技術研究所教授	第三部会員	第三部
柴山 悦哉	東京大学情報基盤センター教授	第三部会員	第三部
土井美和子	国立研究開発法人情報通信研究機構 監事、株式会社国際電気通信基礎技術研究所客員研究員	第三部会員	第三部
徳田 英幸	慶應義塾大学環境情報学部教授・大学院政策・メディア研究科委員長	第三部会員	第三部
萩谷 昌己	東京大学大学院情報理工学系研究科教授	第三部会員	第三部
東野 輝夫	大阪大学大学院情報科学研究科教授	第三部会員	第三部

安浦 寛人	九州大学理事・副学長	第三部会員	第三部
-------	------------	-------	-----

(科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会 化学分野の大型研究計画評価小分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考	推 薦
阿尻 雅文	東北大学原子分子材料科学高等研究機構教授	第三部会員	第三部
加藤 昌子	北海道大学大学院理学研究院化学部門教授	第三部会員	第三部
川合 眞紀	東京大学大学院新領域創成科学研究科物質系専攻教授、国立研究開発法人理化学研究所理事長特別補佐	第三部会員	第三部
北川 進	京都大学物質－細胞統合システム拠点拠点長・教授	第三部会員	第三部
高原 淳	九州大学先端物質化学研究所長・主幹教授	第三部会員	第三部
中村 栄一	東京大学大学院理学系研究科化学専攻教授	第三部会員	第三部
橋本 和仁	東京大学大学院工学系研究科教授	第三部会員	第三部
藤田 照典	三井化学株式会社シニア・リサーチフェロー、特別研究室長	第三部会員	第三部
山内 薫	東京大学大学院理学系研究科化学専攻教授	第三部会員	第三部
渡辺 芳人	名古屋大学理事・副総長	第三部会員	第三部
岩澤 康裕	電気通信大学燃料電池イノベーション研究センター長・特任教授	連携会員	第三部
栗原 和枝	東北大学原子分子材料科学高等研究機構教授	連携会員	第三部
巽 和行	名古屋大学名誉教授・物質科学国際研究センター特任教授	連携会員	第三部

(科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会 総合工学分野の大型研究計画評価小分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考	推 薦
新井 民夫	芝浦工業大学教育イノベーション推進センター教授	第三部会員	第三部
川口淳一郎	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所宇宙飛翔工学研究系教授・シニアフェロー	第三部会員	第三部
柴山 悦哉	東京大学情報基盤センター教授	第三部会員	第三部
鈴置 保雄	名古屋大学大学院工学研究科電子情報システム専攻教授	第三部会員	第三部
中村 崇	東北大学多元物質科学研究所教授	第三部会員	第三部
萩原 一郎	明治大学先端数理科学インスティテュート (MIMS) 所長・研究知財戦略機構特任教授	第三部会員	第三部
渡辺美代子	国立研究開発法人科学技術振興機構副理事	第三部会員	第三部
荒川 泰彦	東京大学生産技術研究所教授	連携会員	第三部
河田 聡	大阪大学大学院工学研究科教授	連携会員	第三部
柴田 徳思	公益社団法人日本アイソトープ協会専務理事	連携会員	第三部
原 辰次	東京大学大学院情報理工学系研究科教授	連携会員	第三部
松岡 猛	宇都宮大学基盤教育センター非常勤講師	連携会員	第三部
矢川 元基	公益財団法人原子力安全研究協会会長、東京大学名誉教授	連携会員	第三部
吉村 忍	東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻教授・工学系研究科副研究科長	連携会員	第三部

(科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会 機械工学分野の大型研究計画評価小分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考	推 薦
新井 民夫	芝浦工業大学教育イノベーション推進センター教授	第三部会員	第三部
有信 睦弘	国立研究開発法人理化学研究所理事、 東京大学監事	第三部会員	第三部
岡崎 健	東京工業大学大学院理工学研究科教授	第三部会員	第三部
厨川 常元	東北大学大学院医工学研究科教授	第三部会員	第三部
柴山 悦哉	東京大学情報基盤センター教授	第三部会員	第三部
福山満由美	株式会社日立製作所研究開発グループ技術戦略室技術統括センタ長	第三部会員	第三部
藤井 孝藏	東京理科大学工学部経営工学科教授	第三部会員	第三部
金子 真	大阪大学大学院工学研究科教授	連携会員	第三部
岸本喜久雄	東京工業大学大学院理工学研究科教授	連携会員	第三部
北村 隆行	京都大学大学院工学研究科機械理工学専攻教授	連携会員	第三部
谷下 一夫	早稲田大学ナノ理工学研究機構研究院教授	連携会員	第三部
新美 智秀	名古屋大学大学院工学研究科長・工学部長	連携会員	第三部
菱田 公一	慶應義塾大学理工学部教授	連携会員	第三部
前田龍太郎	国立研究開発法人産業技術総合研究所集積マイクロシステム研究センター長	連携会員	第三部
光石 衛	東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻教授	連携会員	第三部

(科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会 電気電子工学分野の大型研究計画評価小分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考	推 薦
大西 公平	慶應義塾大学理工学部教授	第三部会員	第三部
柴山 悦哉	東京大学情報基盤センター教授	第三部会員	第三部
波多野睦子	東京工業大学大学院理工学研究科電子物理工学専攻教授	第三部会員	第三部
保立 和夫	東京大学理事・副学長・大学院工学系研究科教授	第三部会員	第三部
吉田 進	京都大学特任教授・名誉教授	第三部会員	第三部
大橋 弘美	NTTエレクトロニクス株式会社技術開発統括センタ次長	連携会員	第三部
河村 篤男	横浜国立大学大学院工学研究院教授	連携会員	第三部
河野 隆二	横浜国立大学大学院工学研究院教授・未来情報通信医療社会基盤センター長	連携会員	第三部
小林 一哉	中央大学理工学部・教授	連携会員	第三部
津田 俊隆	早稲田大学大学院国際情報通信研究科教授	連携会員	第三部
日高 邦彦	東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻教授	連携会員	第三部

(科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会 土木工学・建築学分野の大型研究計画評価小分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考	推 薦
磯部 雅彦	高知工科大学学長	第三部会員	第三部
小松 利光	九州大学名誉教授	第三部会員	第三部
高原 淳	九州大学先端物質化学研究所長・主幹教授	第三部会員	第三部
吉野 博	東北大学総長特命教授・名誉教授、秋田県立大学客員教授、前橋工科大学客員教授	第三部会員	第三部

依田 照彦	早稲田大学理工学術院創造理工学部教授	第三部会員	第三部
小峯 秀雄	早稲田大学理工学術院創造理工学部社会環境工学科教授	連携会員	第三部
仙田 満	放送大学客員教授、環境デザイン研究所会長	連携会員	第三部
田中 稲子	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院准教授	連携会員	第三部
道奥 康治	法政大学デザイン工学部	連携会員	第三部
望月 常好	公益社団法人日本河川協会参与、五洋建設株式会社土木部門担当専務執行役員	連携会員	第三部
米田 雅子	慶應義塾大学特任教授	連携会員	第三部
和田 章	東京工業大学名誉教授	連携会員	第三部

(科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会 材料工学分野の大型研究計画評価小分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考	推 薦
片岡 一則	東京大学大学院工学系研究科マテリアル工学専攻教授	第三部会員	第三部
高原 淳	九州大学先端物質化学研究所長・主幹教授	第三部会員	第三部
中嶋 英雄	公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター所長、大阪大学名誉教授	第三部会員	第三部
中村 崇	東北大学多元物質科学研究所教授	第三部会員	第三部
細野 秀雄	東京工業大学フロンティア研究機構教授	第三部会員	第三部
松宮 徹	金沢大学大学院自然科学研究科客員教授	第三部会員	第三部
吉田 豊信	東京大学名誉教授	第三部会員	第三部
小関 敏彦	東京大学副学長・教授	連携会員	第三部
長井 寿	国立研究開発法人物質・材料研究機構構造材料研究拠点長	連携会員	第三部

塙 隆夫	東京医科歯科大学学生体材料工学研究所所長・教授	連携会員	第三部
森口 祐一	東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授	連携会員	第三部
山口 周	東京大学大学院工学系研究科教授	連携会員	第三部

(提案 6)

科学と社会委員会運営要綱（平成 1 7 年 1 0 月 4 日日本学術会議第 1 回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

改 正 後				改 正 前			
(略)				(略)			
(分科会)				(分科会)			
第 2 委員会に、次の表のとおり分科会及び小委員会を置く。				第 2 委員会に、次の表のとおり分科会及び小委員会を置く。			
分科会等	調査審議事項	構成	備考	分科会等	調査審議事項	構成	備考
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
<u>Gender Summit 10 分科会</u>	<u>1.Gender Summit 10 を開催するために必要な企画立案及び実施準備に関すること</u> <u>2.Gender Summit 10 の行動声明の作成に関すること</u>	副会長（日本学術会議会則第 5 条第 2 号担当）及び会員又は連携会員 1 5 名以内	設 置 期 間：平成 28 年 3 月 24 日～平成 29 年 9 月 30 日	(新規設置)			
(庶務)				(庶務)			
第 3 委員会の庶務は、事務局企画課及び参事官（審議第一担当				第 3 委員会の庶務は、事務局企画課及び参事官（審議第一担当			

及び審議第二担当）において処理する。<u>ただし、Gender Summit 10 分科会の庶務は、必要に応じて事務局参事官（国際業務担当）の協力を得て、事務局企画課において処理する。なお、分野別委員会ジェンダー系分科会との連携に当たっては、必要に応じて事務局参事官（審議第一担当）の協力を得ることとする。</u> （略）	及び審議第二担当）において処理する。 （略）
---	--------------------------------------

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

科学と社会委員会分科会の設置について

分科会等名：Gender Summit 10 分科会

1	所属委員会名	科学と社会委員会
2	委員の構成	副会長（日本学術会議会則第5条第2号担当）及び会員又は連携会員15名以内
3	設置目的	「Gender Summit」は、ジェンダーの視点を取り入れて研究やイノベーションの質の向上を目指すことを目的に、2011年（平成23年）にヨーロッパで発足し、世界各国で開催されている国際会議である。開催10回目となる「Gender Summit 10」が、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の主催で、2017年（平成29年）5月、日本で初めて開催されることが決定している。日本学術会議は「Gender Summit 10」をJSTと共同主催し、JSTと協力して、ワークショップや行動声明を議論、企画、実行するために、本分科会を設置する。 「Gender Summit 10」の全体テーマは、“Better Science and Innovation through Gender, Diversity and Inclusive Engagement”であり、以下の6つをサブテーマとしている。 (1) ダイバーシティ推進に係る評価方法及びファンディングに関するジェンダー視点からの手法の提示 (2) スポーツにおけるジェンダー・サイエンスの推進 (3) ジェンダー・コンシャスな統計整備を使いながらの男女共同参画の男性に対するメリットの具体化 (4) 我が国における女性研究者ネットワークの構築 (5) 女性参画拡大により期待されるイノベーション上のメリットの具体化 (6) 中等教育からの女性の文理選択の健全化 なお、議論や企画、実行に当たっては、科学者委員会男女共同参画分科会及び人文・社会科学分野の分野別委員会ジェンダー系分科会（法学委員会ジェンダー法分科会、社会学委員会ジェンダー政策分科会、社会学委員会ジェンダー研究分科会、史学委員会歴史学とジェンダーに関する分科会、総合ジェンダー分科会）とも連携していく。

4	審 議 事 項	1. Gender Summit 10 を開催するために必要な企画立案及び実施準備に関すること 2. Gender Summit 10 の行動声明の作成に関すること
5	設 置 期 間	時限設置 平成 28 年 3 月 24 日～ 平成 29 年 9 月 30 日 常 設
6	備 考	※新規設置

【機能別委員会】

○委員の決定（新規1件）

（科学と社会委員会 Gender Summit 10 分科会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考	推 薦
伊藤 公雄	京都大学大学院文学研究科教授	第一部会員	第一部
神尾 陽子	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・思春期精神保健研究部長	第二部会員	第二部
渡辺美代子	国立研究開発法人科学技術振興機構副理事	第三部会員	第三部
松尾由賀利	法政大学理工学部教授	第三部会員	第三部
藤井 良一	名古屋大学宇宙地球環境研究所教授	第三部会員	第三部
森 初果	東京大学物性研究所教授	連携会員	第三部

(提案7)

分野別委員会運営要綱(平成26年8月28日日本学術会議第199回幹事会決定)の一部を次のように改正する。

改 正 後					改 正 前				
別表第1					別表第1				
分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	備考	分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	備考
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
総合工学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	総合工学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	総合工学委員会エネルギーと科学技術に関する分科会	(略)	(略)			総合工学委員会エネルギーと科学技術に関する分科会	(略)	(略)	
	(略)	(略)	(略)	(略)		(略)	(略)	(略)	(略)
	総合工学委員会エネルギーと科学技術に関する分科会分散型再生可能エネルギーのガバナンス小委員会	1. 再生可能エネルギーの実態に基づいた開発可能量、エネルギー収支比などを科学的、中立的に検討し、地域に密着した再生可能エネルギー開発のガバナンス 2. 自治体、地域コミュニティに情報発信するシンポジウムの企画に係る審議に関すること	15名以内の会員、連携会員又は会員若しくは連携会員以外の者			総合工学委員会エネルギーと科学技術に関する分科会エネルギーガバナンス小委員会	1. 原子力開発に関わる放射性物質の影響 2. 化石燃料の実態 3. 多様なエネルギーの将来と社会との関係 4. 次世代に情報発信するシンポジウムの企画に係る審議に関すること	15名以内の会員、連携会員又は会員若しくは連携会員以外の者	
	(略)	(略)	(略)	(略)		(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

附 則
この決定は、決定の日から施行する。

総合工学委員会 エネルギーと科学技術に関する分科会 小委員会の設置について

分科会等名：分散型再生可能エネルギーのガバナンス小委員会

1	所属委員会名	総合工学委員会
2	委員の構成	15 名以内の会員、連携会員又は会員若しくは連携会員以外の者
3	設置目的	エネルギー供給は石油・天然ガス・石炭などの化石燃料、原子力、水力・地熱・太陽光・風力・バイオマスなどの再生可能エネルギーなど多様である。その中で安価な在来型石油・天然ガスは生産ピークを迎え、それに代わって非在来型石油・天然ガス生産が増加している。しかし非在来型石油・天然ガスも生産ピークを迎えるのも時間の問題である。課題解決のために都市への集中型大規模エネルギーだけでなく、地方で作られる水力、地熱、太陽光、風力、バイオマスなどの分散型再生可能エネルギー開発が望まれる。平成 26 年に纏められた報告「再生可能エネルギーの利用拡大に向けて」では、資源論で言う資源量に相当する導入ポテンシャルを算出し、再生可能エネルギーだけで現在の全発電電力量を賄えるとして FIT を活用した地方の活性化を目指したエネルギー開発を提唱した。現在地方においては FIT などの制度を利用した再生可能エネルギーの開発が進んでいる。しかしそのさらなる発展のためには地方から都市へ輸送する大規模エネルギーと異なり、地方が受益者となる新たな地方独自のガバナンスが必要である。本小委員会では、多様な再生可能エネルギー開発の実態をしらべ、開発可能量、エネルギー収支比などを科学的、中立的に検討し、再生可能エネルギー開発の在り方を議論し、それぞれの地域が受益者となり、活性化するためのガバナンスを検討する。さらにその成果を自治体、地域コミュニティに情報発信を行い、地域社会の再生可能エネルギーのガバナンス向上に貢献する。
4	審議事項	1. <u>再生可能エネルギーの実態に基づいた開発可能量、エネルギー収支比などを科学的、中立的に検討し、地域に密着した再生可能エネルギー開発のガバナンス</u> 2. <u>自治体、地域コミュニティに情報発信するシンポジウ</u>

		<u>ムの企画</u>
5	設 置 期 間	時限設置 年 月 日～ 年 月 日 常 設
6	備 考	※名称及び調査審議事項の変更 (今後、審議対象をエネルギー全般ではなく、再生可能エネルギーに絞ることに伴い、調査審議事項から原子力及び化石燃料を外すとともに、調査審議事項に即した名称に変更する必要があるため。)

【分野別委員会】

○委員の決定（追加 1 件）

（基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同 ワイルドライフサイエンス分科会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
西田 睦	琉球大学理事・副学長	連携会員

【小委員会】

○委員の決定（追加 1 件）

（総合工学委員会 エネルギーと科学技術に関する分科会 分散型再生可能エネルギーのガバナンス小委員会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
大和田野芳郎	国立研究開発法人産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所所長	連携会員
北川 尚美	東北大学大学院工学研究科化学工学専攻反応プロセス工学講座准教授	連携会員
山地 憲治	公益財団法人地球環境産業技術研究機構理事・研究所長	連携会員

提案 9 は提言等関係のため別添 2 を御覧ください。

※提案 8 取り下げに伴い、65～70 頁は削除

平成28年度代表派遣実施計画の変更について

以下のとおり、開催期間及び開催地に変更があったため、実施計画の一部を変更する。

会議名称	派遣候補者(職名)	派遣期間(会期分)	開催地(国)	備考
国際農業工学会(CIGR)2016年総会および執行役員会、理事会	梅田 幹雄 連携会員 京都大学名誉教授	平成28年6月25日～ <u>6月30日</u> ↓ 平成28年6月25日～ <u>7月6日</u>	オールフス(デンマーク) ↓ オールフス(デンマーク)、 <u>オルシチン(ポーランド)</u>	会期及び開催地の変更 ※ 実施計画及び派遣者については共に第225回幹事会(平成28年2月26日開催)にて承認済み。
GYA総会	狩野 光伸 特任連携会員 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授	平成28年5月25日～5月29日	<u>カイセリ(トルコ)</u> ↓ <u>アイントホーフェン(オランダ)</u>	開催地の変更 ※ 実施計画及び派遣者については共に第225回幹事会(平成28年2月26日開催)にて承認済み。
GYA総会	住井 英二郎 連携会員 東北大学大学院情報科学研究科教授	平成28年5月25日～5月29日	<u>カイセリ(トルコ)</u> ↓ <u>アイントホーフェン(オランダ)</u>	開催地の変更 ※ 実施計画及び派遣者については共に第225回幹事会(平成28年2月26日開催)にて承認済み。

(提案 1 1)

日本学術会議協力学術研究団体への新規申込みがあった団体の概要

	団体名	概 要
1	産業保健人間工学会	仕事を分析する原理と仕事に必要な人間行動の原理との両面から、働く人々の健康及び安全の確保と労働生産性の向上との共存を検討し、産業保健領域での実践的な人間工学の進歩、発展を図る。
2	(一社) 日本福祉工学会	21 世紀社会における医療・福祉工学の新生を目指して、医療・福祉・工学の知識を結合し、真の学際的研究を進めることによって新しいフロンティアを生み出すとともに、産業シーズを創成することを目指す。
3	北陸心理学会	北陸地域で活動する心理学者及び関連領域の研究者が研究成果や実践活動に関する情報交換を行うことにより、相互の連携を深める機会を提供し、心理学の研究と教育の発展を図る。

提案 12～25 はシンポジウム等関係のため別添 4 を御覧ください。

提案 26 は別添なし。